

1 評価の考え方

平成21年度から平成25年度までの取組をふりかえり、5か年の事業・取組の実績・内容について、事業・取組の目標に対する進捗状況について評価をした上で、緑の量・質の両面の評価をあわせて、以下の評価基準により総合的に評価を行いました。

〔成果に対する評価基準〕	A:計画を上回る成果	B:概ね計画通りの成果	C:計画を下回る成果
--------------	------------	-------------	------------

(1) ベースとなる評価の考え方

総合的に評価を行うためのベースとなる評価の考え方は以下のとおりです。

ア 目標に対する進捗状況の評価

各事業・取組について、5か年目標や計画事業費に対する5か年での進捗率や執行率などをお示しし、以下の評価基準により進捗状況からの評価を行いました。

〔進捗状況についての評価基準〕	◎:100%以上	○:70%以上～100%未満	△:70%未満
-----------------	----------	----------------	---------

イ 緑の量・質の両面の評価

緑の総量の維持・向上に対する評価や、計画における「街の姿」「生活のイメージ」に対する貢献について評価を行いました。

大都市だけどふるさつがある横浜

- 手入れの行き届かない森から、美しく豊かで安全な森へ
安全で明るく美しい森・森が気軽に楽しめる場として利用・間伐材等の資源が積極的に利活用
- 身近に農がある豊かな暮らし
田園風景や谷戸の景観が広がる農地が保全・身近に農を楽しみに集まる市民でにぎわう

街なかに緑あふれる横浜

- 緑あふれる市街地
地域ぐるみの緑化・快適な緑あふれる街・公共施設の緑化・子どもたちが芝生を楽しむ機会が増える
- 市街地にあって安らぎをもたらす樹林地、農地
気楽に農に関わる魅力的な農環境が提供・土や緑に触れる潤いのある生活が街中に実現

「横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）」（平成21年4月）から抜粋